

クローズアップ



浦安市新庁舎

高橋 昌宏

(Masahiro Takahashi)

株式会社 日立ビルシステム
東京昇降機本部 新設営業技術部

建物 外 観

1. はじめに

「環境」、「フレキシビリティ」、「長寿命」、「高品質」を設計コンセプトに千葉県浦安市の新庁舎が完成しました。これにより「人口増加により庁舎が分散し市民が利用しにくい」、「十分なバリアフリー対策ができていない」、「災害時の拠点として不安がある」などの課題が解決されました。

想定される大地震発生後も防災拠点としての機能を維持できるように、建物構造には基礎免震構造を採用し、自家発電設備には3日分の備蓄燃料を備え、長期間の停電でも災害対策本部機能を維持することができます。

建物中央部には吹抜け空間が設けられ、それに面して全ての部、課が配置され、開かれた市庁舎の象徴となっています。また吹抜けを利用した「自然換気」、「自然採光」などによる省エネルギー対策を行い、環境にも配慮した庁舎になっています。

2. 建物概要

所在地：千葉県浦安市猫実一丁目1番1号

建築主：浦安市

基本設計・工事監理：株式会社 日建設計

実施設計：鹿島建設株式会社

施工：鹿島建設株式会社

建物用途：市庁舎

敷地面積：3,106.81㎡

延床面積：25,610.51㎡

構造：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造

階床数：地上11階、塔屋1階

建屋高、軒高：54.1m

工期：2014年9月～2016年5月

竣工日：2016年6月4日

開業日：2016年6月20日

3. 昇降機設備

主に来庁者が使用する乗用エレベーター3台は、建物中央部の吹抜け空間壁面に設置され、オープンタイプのエレベーターとなっています。

来庁者の利用が多い市民課が1階にあり、待合、受付案内所がある吹抜け部からは、エレベーターの昇降が見える配置となっています。

建物の構造上、釣合おもりがかごの背面に配置されていますが、レールの設置幅を最大限に広げ、かご内の展望窓からレールが見え難くなるよう配慮しています。

また昇降路内に設置される機器やケーブルなども見栄えを考慮した配置としています。昇降路内の出入口壁面には、騒音を低減するための吸音材が貼られています。また、鉄骨やエレベーター機器と同色の吸音材を採用することで、見栄えがよくなっています。

エレベーターの機能面では、エレベーター3台全てを車いす、視覚障がい者仕様とし、押しボタンには凸文字ボタンが採用されたユニバーサルデザインとなっています。

かご内背面の吹抜け空間を望む展望窓には、利用者の恐怖心を和らげるために、手摺から下の窓に半透明のシートを貼り、かご内からは下が見えないように配慮しています。

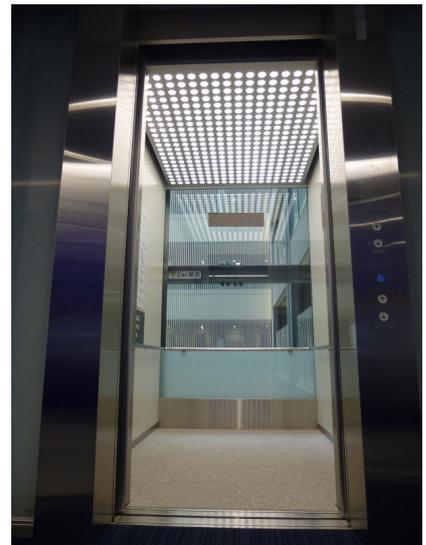
クローズアップ



1～3号機 1階吹抜け部から見た昇降路



1～3号機 かごの外観



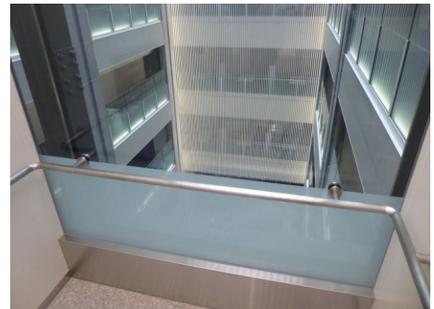
1～3号機 かご内



1～3号機 1階乗場



1～3号機 一般階ホール



1～3号機 かご内

エレベーター仕様 (計5台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
1～3	乗用	インバーター	全自動群管理方式	1600	24	105	3	9 (1～7, 9, 10)	日立	車いす仕様、展望用
非常用 EV1	人荷用	〃	乗合全自動方式	2000	30	105	1	11 (1～11)		兼非常用
非常用 EV2	〃	〃	〃	1350	17	105	1	11 (1～11)		〃